

令和7年度
日野市郷土資料館の
運営の状況に関する評価書
(令和6年度事業)

令和7年9月
日野市ふるさと文化財課
(郷土資料館)

目次

1 はじめに	1
2 評価の目的	1
3 郷土資料館の現状	1
(1)組織と職員	
(2)主な業務	
4 評価の実施方法	1
5 評価の対象	2
6 評価の結果	2
7 写真で見る日野市郷土資料館	4
8 事業別 日野市郷土資料館の運営状況の評価表	5～9

参考資料

I 令和6年度 日野市郷土資料館の活動状況	10～18
II 日野市郷土資料館の運営状況の評価実施要綱	19
III 第10期日野市郷土資料館協議会委員名簿	20

1 はじめに

平成15年以降、「博物館の設置及び運営に関する基準」に基づき、郷土資料館は事業の水準の向上を図り、郷土資料館の目的を達成するため、自ら評価を行い郷土資料館協議会の御意見をいただき、その結果を公表するように努めてきております。

さらに、平成20年の「博物館法」の改正により、郷土資料館の運営状況に関する評価として、「博物館は、運営の状況に関する評価を行うとともに、その結果に基づき博物館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない」とされています。

これらを受け、郷土資料館では、平成21年3月、「日野市郷土資料館の運営状況の評価実施要綱」を制定し、郷土資料館の運営状況に関する評価を実施しております。

2 評価の目的

この評価は、郷土資料館の運営状況に関する情報を、積極的に公表することにより、郷土資料館の利用者や関係者との相互の理解を深めるとともに、連携・協力を図り、郷土資料館の事業を推進することを目的とするものです。

3 郷土資料館の現状

(1) 組織と職員

令和6年度 ふるさと文化財課

館長1(ふるさと文化財課長兼郷土資料館長)

〔庶務係〕係長1、再任用1

〔学芸係〕係長1(学芸員)、主査1(学芸員)、主任5(学芸員)、主事2(学芸員)、会計年度職員5

(2) 主な業務

平成17年4月1日、ふるさと博物館から組織変更した日野市郷土資料館は、次の目的を達成することを目指して活動をしています。令和3年4月から郷土資料館、新選組のふるさと歴史館、生涯学習課文化財係が組織統合し「ふるさと文化財課」となり郷土資料館の使命を引き継いでいます。

- ① 歴史、民俗、自然等の資料の収集、保管及び展示に関する業務
- ② 資料の調査研究に関する業務
- ③ 資料の普及広報活動に関する業務
- ④ 学校教育や市民による自主的学習活動への支援の連携業務

4 評価の実施方法

郷土資料館では「日野市郷土資料館の運営状況の評価実施要綱」に基づき、毎年1回、郷土資料館協議会へ運営状況についての自己評価を提出し、協議会の評価を併せて評価書としてまとめ、教育委員会へ報告いたします。その後、市民の皆様へ公表することとしています。

さらに、その評価の結果に基づき、今後の郷土資料館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めていきます。

5 評価の対象 令和 6 年度評価対象は、次の5事業について行いました。

No.1 学校教育との連携事業

No.2 展示開催事業

No.3 資料の収集・調査・整理事業

No.4 百草・倉沢エコミュージアム事業

No.5 講座・体験学習事業

6 評価の結果

<<郷土資料館協議会の評価・意見>>

令和6年度評価対象事業の項目別概要は次の通りです。

No.1 学校教育との連携事業

学校教育と連携して日野を学ぶ取り組みが、学校現場に役立っており、概ね良い評価をいただきました。地域のふるさと日野を知る施設として都立学校からも認知され評価されました。また、他の科目での連携の可能性もご指摘いただきました。

No.2 展示開催事業

他地域との連携展示や、地域の歴史を解き明かす資料の大切さを伝える展示、参加型の展示の工夫について評価をいただきました。公共施設などへの出張展示の継続が望まれ、地名や流通経路を地図に落とすといった視覚化への提案をいただきました。

No.3 資料の収集・調査・整理事業

デジタル化は時代に即した事業であり、充実と公開を進めるよう指摘されました。基礎研究が大切であることや、調査整理などの経緯を展示で紹介する提案もいただきました。また市民協同で進める古文書調査が高齢化に直面している問題も共有しました。

No.4 百草・倉沢エコミュージアム事業

市民協働の調査活動の主力が高齢者であり、世代の引継ぎが困難に直面している指摘がありました。また、同様の活動が他の地域でも広がることに期待する意見をいただきました。真慈悲寺は歴史の流れが理解できると興味を持てそうなので、中学校での教材化の提案をいただきました。

No.5 講座・体験学習事業

子ども向けくずし字講座など、新たな対象者への取り組みが大切であるとの意見をいただきました。日野桑園第一蚕室での体験学習会の実施は好評であり、地域にあるハイキングコースなどの資源を生かした取り組みについても言及されました。また、日野の良さを伝えるためにも、共同開催など関係者が集う企画も提案されました。

<<郷土資料館の自己評価>>

ふるさと文化財課は、令和 3 年 4 月の発足後、郷土資料館、新選組のふるさと歴史館、文化財担当といったかつて別組織で行ってきた業務を停滞させることなく、ふるさと文化財課という体制の下で協力し、その継続・深化をはかることと、地域の文化財を面としてとらえ文化財の総合的な把握を行うことの 2 点を当

面の目標として各種事業に取り組んできました。

昨年の自己評価では、資料の収蔵スペースが限界に達しつつあり、日野市の公共施設再編が動き出した中で、文化財を保存・継承する仕組みを作り上げることが大きな課題であり、資料館の仕事や文化財を保存・継承する意義を発信したいと述べました。令和6年度の活動では、この点を踏まえ、いくつかの取り組みを行いました。

まず、企画展「千歯抜き探偵団」や「ひのっ子お買い物展」では、観覧者自らが資料を観察し、考察する内容とし、観覧者が展示に主体的にかかわる仕掛けづくりを行いました。「ここまでわかった!川辺堀之内のうんとむかし」では、区画整理事業が進む川辺堀之内地区での発掘調査により明らかになった地域の歴史を展示しました。いずれも、一つ一つの資料や調査の積み重ねから何がわかるのかを伝え、理解していただくことで、資料を集め、展示し、保存する意義を訴えました。

一方、講座・体験学習事業と百草・倉沢エコミュージアム事業においては、子供向けのくずし字講座や、第一蚕室での糸取り体験、百草倉沢エコミュージアム事業における子供向けの体験講座や地域探検事業など、幅広い市民が文化財に触れるきっかけとなるような事業を積極的に開催しました。

郷土資料館ではこれまでも市内各地でパネル展示を展開し、施設見学や出張授業といった形で、多くの学校ともかかわってきました。これらの取り組みに加え、市民の興味を喚起するような展示や講座を工夫し、資料を調査・保存することへの理解を得てまいりたいと考えます。ただし、上記の事業には定員に満たなかったものもあり、かねてからご指摘いただいている通り、広報の面では課題が残ります。これまで郷土資料館にあまり関心のなかった方々にも届くような情報発信の検討が求められます。

また、令和4年度から取り組んでいる歴史的公文書のデジタル化事業については、その成果をいかに広域的確に、かつ早く公開するかが課題となります。

デジタルデータは原資料に代わるものではなく、バックアップであり、資料の円滑な活用を促すためのツールです。デジタル化によって原資料の保存がおろそかになってはならないことも発信し、理解を得る必要があります。

今回の評価では、資料保存の問題や、郷土資料館の活動を支えてきた市民研究団体の高齢化に伴う継承の問題など、様々な視点からのご指摘をいただいています。日野市郷土資料館に限らず、全国の博物館、資料館は転換期を迎えつつあります。その中であって。日野市の歴史・文化・自然に関する有形・無形の資料を次世代に継承できるよう、今回いただいたご意見・ご指摘を活かしてまいります。

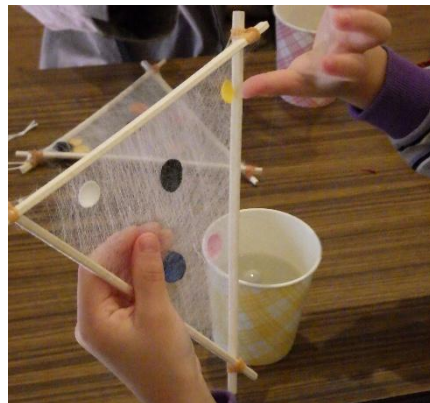
評価対象となった各事業の自己評価及び郷土資料館協議会からいただいた評価及び意見は、5 ページ以降の評価表のとおりです。

7 写真でみる日野市郷土資料館

郷土資料館は、日野市を調べ、館内での展示のほか出張展示・体験学習・野外講座など様々な方法でふるさと日野を伝えています。



百草・倉沢エコミュージアム 百草八幡神社の発掘調査



糸繰り体験 日野桑園第一蚕室にて



七生丘陵の早春を楽しもう 七生公園にて



歴史的公文書デジタル化 整理作業



企画展
「今日も明日も観察日和～身近な自然を楽しもう～」



出張パネル展示「勉強会が記録したサイノカミ・
どんど焼き-コロナ禍の工夫と復活-」中央図書館にて

8 日野市郷土資料館の運営の状況に関する評価表

事業項目 No.1 学校教育との連携事業
事業の概要 ・小中高等学校、幼稚園・保育園などの活動に協力し、子どもたちへの文化財の啓発事業を展開する。 ・社会科見学や出前授業、見学会、職場体験などは、小中高等学校などの要望を取り入れた内容で行う。 ・授業などに用いる写真資料や、参考文献などの情報を提供し、見学場所や人材紹介などを行う。 ・当館で蓄積した画像データなどを学校に提供して、ICT 教育の教材として活用をはかる。 ・学校教育や郷土教育推進研究委員会と連携し、郷土に関する情報の発信を行う。
事業の成果 ・わかば教室の考古学体験と脱穀体験授業に協力した。考古学体験は生徒の興味が発端となり実現し、脱穀体験は毎年実施している。生徒の好奇心を育み、学習への意欲につながる体験の機会を提供できた。 ・七生特別支援学校高等部の地域学習が2年間継続し、職場体験も新たに加わり、連携が強化された。 ・社会科見学や地域学習など小中高等学校来館11件、中高職場体験6件、わかば教室体験授業4回、出張授業では日野の産業、翼聖歌、昔の道具などの展示や講師派遣9件と、学校教育に貢献できた。
協議会の意見 ・博物館は、児童・生徒が諸感覚で感じて、体験を通して確かな知識としていくことができ、学校教育にとって大変魅力的で不可欠な連携先である。 ・小学校にとっては、社会科、総合的な学習の時間で非常に効果的で役立っており、戦争体験の展示など国語の授業でも連携ができる。 ・令和6年度の実績からは、市立小学校の郷土教育を中心に、中学校における総合的な学習の時間の「日野探究」においてよく活用されている ・中学校では、職場体験が特徴的で、職業として地域の財産を次代につなげる意義を体験させていただくことは、生徒の成長はもとより、地域にとってもかけがえのないものだと考える。 ・都立特別支援学校を卒業して働いていく生徒の職場体験や、自分たちが暮らす日野を知る取り組みは非常に価値がある。 ・都立中等教育学校や都立特別支援学校が日野市の郷土を知るために資料館を利用しており、地域の資源として郷土資料館が認知されていることの表れだと思う。 ・わかば教室の児童・生徒にとって、新規の体験の機会は貴重であり、歴史・伝統や職業・生産にかかわる文化的活動は彼らの興味・関心を喚起するだろう。学びの多様化を模索しており、この意義をしっかりと記録し発信するとよい。 ・それぞれの教育機関が、郷土資料館の存在をしっかりとそれぞれの教育課程の中に位置づけて、学びを進めているということが、大変素晴らしい。 ・学校との連携事業はありがたいと継続して欲しい。 ・市内各地の小学校の社会科見学を受け入れられており、資料館の存在が広く市内小学校に認知されている。一方、資料館のすぐ隣にある小学校の来館が1件だけなのは、少しもったいないと感じる。授業に取り入れるかは学校次第だが、資料館側からもより積極的に様々な資料館の活用方法を提案してはどうか。社会の授業だけでなく、生活や理科、国語、総合学習など、資料館の持つ資料や知見は多岐にわたる科目に活かせると思う。
課題と改善策 ・社会科見学や職場体験といった毎年実施している活動について好評であった。近くの学校との連携や、新たな科目での連携など、現場の声を聴きながら資料館としてできることを提案していく。 ・実物の資料を用いた体験が求められる一方で、資料保存のためには制約がある。体験用の教材を準備するとともに、資料の大切さも発信する必要がある。 ・他の地域から着任した教諭や新任教諭、利用の多い学年の担任などに対して、教育センターと連携したり、校務支援システムを活用したりして、郷土資料館の活用方法を伝える。 ・例年社会科見学や暮らしの道具の出張授業は、時期が集中するため、準備や対応に余裕がなくなるが、学校の地域性を考慮した資料を追加するなど、児童に興味をもってもらう工夫をする。 ・児童生徒の学校単位の利用により、郷土資料館の認知度は高まっているが、大人には知られていない。教育広報『ひのつ子きょういく』掲載や、見学時の資料配布などにより、児童生徒の保護者への周知もはかる。

事業項目 No.2 展示開催事業

事業の概要

- ・郷土資料館は、旧小学校舎の3教室分で資料を収蔵しながら、日野の歴史・文化・自然を伝えている。様々なテーマを設定した企画展示のほか、廊下壁面を生かしてパネル展示を開催する。
- ・より多くの方にふるさと日野を伝えるため、イベントや公共施設内での出張展示を実施する。
- ・新選組のふるさと歴史館においても、ふるさと文化財課として特別展示などを開催する。

<展示テーマ>

- ・特別展：◎「甲州道中日野宿と本陣」(新選組のふるさと歴史館)
- ・郷土資料館企画展：◎千歯扱き探偵団 ～文字からたどる農具の流通～(企画展示関連講座「謎解き！千歯扱き ～北多摩と南多摩～」)、◎今日も明日も観察日和 ～身近な自然を楽しもう～、◎ここまでわかった！川辺堀之内のうんとむかし -吹上遺跡・神明上遺跡・川辺堀之内遺跡・No.16 遺跡の調査から-、◎「ひのっ子お買い物展～モノの値段・モノの流れ～」
- ・郷土資料館パネル展：◎日野の野鳥、◎戦争体験を語り継ぐ 2024「ある家族の戦争体験」、◎「たきび」の詩人巽聖歌の作品、◎企画展お買い物展関連
- ・出張展示：平山季重ふれあい館(七生丘陵散策コース、平山季重まつり、平山小文集「つくし」、巽聖歌)/高幡図書館(多摩動物公園と京王線)/市役所1階ロビー(歴史的公文書) 旭が丘中央公園(巽聖歌)/ふれあいホール(ひのまなびまつり旧日野桑園)

事業の成果

- ・「千歯扱き探偵団」では、農具に刻まれた文字から流通の経路を辿り、「ひのっ子お買い物展」では、購入記録から読み込んだ当時の価格を実物の道具類とともに紹介した。展示を通して、資料の見方、調べ方や面白さを紹介することができた。「今日も明日も観察日和」では夏休み期間子ども向け展示として、身近な自然を紹介した。「ここまでわかった！川辺堀之内のうんとむかし」では、区画整理地域の発掘調査遺物を公開し、調査が無ければ知り得ない地域の歴史を紹介できた。
- ・歴史館・資料館といった展示施設のほか、公共施設やイベント会場で、様々なテーマで展示することで多くの市民に、「ふるさと日野」を紹介する機会をもつことができた。

協議会の意見

- ・特別展「甲州道中日野宿と本陣」は、神奈川県相模原市との共催企画展で、日野宿本陣と小原宿本陣を知ることできる展示だった。関連の講演会や現地見学会も実施されて、相模原市との協力関係を深める機会にもなった。
- ・企画展「ひのっ子お買い物展」は、家計簿や日用品などを展示して、明治時代から戦後の高度経済成長期にかけての暮らしを伝えるものだった。身近な家計簿やしゃもじなども、地域の歴史を解き明かす大切な資料であることを認識する展示となっていた。
- ・「ひのっ子お買い物展」は、日野と周辺地域の物の流れがわかり地名がでてくるので、地図や流通の視覚化を加えるとさらに良い。
- ・「ひのっ子お買い物展」では、「買い物かご」の形をした用紙を来館者に配布し、コメントを壁に貼るコーナーがあり、来館者が展示に参加できるとても良い取り組みであった。
- ・夏の企画展「今日も明日も観察日和」は、猛暑で野外での自然観察がしにくいこともあり、室内で学べる場所も重要。
- ・生活に密着した題材をストーリー性のある展示とし、市民の目に触れる機会の多い公共施設やイベント会場に展示していく姿勢はこれからも継続されることを期待する。
- ・すべての事業に当てはまることだが、学芸員自身の不断努力と共に外部からの様々な意見に率直に耳をこらすことが必要であり、地域の現状を踏まえた上で、その中で最適なものを選び出すことが必要。また、事業項目それぞれの概要・成果などの確にまとめられて好感がもてる、これらによって課題と改善策が提示され、よりよい博物館活動に繋がるだろう。

課題と改善策

- ・当館は交通の利便性が高くない。イベント会場や公共施設など地域に出向いて展示開催し、身近な場所でも気軽に「ふるさと日野」に触れる機会をつくる。
- ・資料の価値を伝える展示が評価された。また、資料の調査研究の大切さを引き続き伝えることも重要。そのために、見学者が興味関心をもつように工夫して展示をする。
- ・分かりやすさをより一層考慮した展示とし、参加する楽しみを取り入れるなどの工夫をする。
- ・「ふるさと日野」を中心に据えるとともに、他の地域との関連性もあわせて紹介することに努める。
- ・旧校舎を活用した当館は、資料の保管や展示施設としては十分な機能や空間を備えてない。地域の学校であった歴史も踏まえて、その良さを活かした展示を行う。

事業項目 No.3 資料の収集・調査・整理事業

事業の概要

- ・代替わりや区画整理等の理由で処分される建造物または蔵等に収蔵されているものについて、専門家と連携して調査を行い、地域を語る資料の記録保存を行う。
- ・個人所蔵資料の調査や資料受領を行い、地域の文化財として収集し活用する。
- ・古文書等歴史資料整理編集委員会を年3回開催し、事業への助言を受ける。
- ・調査で得られた成果を展示や講座・見学会、読み物、刊行物などで紹介し、市民の利用に供する。
- ・令和6年度は、ふるさと文化財課と図書館が共同で行う「歴史的公文書デジタル化事業」に重点的に取り組み、旧七生村行政文書及び旧日野町・日野市行政文書のデジタルデータ化を進めた。

事業の成果

- ・市域にある建造物や個人所蔵資料の調査・収集などを行った。
- ・市域に関連する資料の購入や剥製製作を行った。
- ・古文書の裏打ち修復を行い、資料の保全を行った。
- ・古文書等歴史資料整理編集委員会を年3回開催し、委員の意見を参考に上記事業を進めた。
- ・日野の古文書を読む会研究部会との協働調査で襖下張文書の接合と解読を行った。
- ・歴史的公文書デジタル化事業については、令和7年3月から4月に日野市役所でパネル展を行い、重要性を周知することができた。またその一部を、当課歴史的公文書データベースで追加公開した。

協議会の意見

- ・古文書調査は「日野の古文書を読む会」と共同し、襖の下張り文書の整理を2週間に1回、日記の解読を毎週行っている。月1回の学習会では、会員講師の継続も難しくなった。高齢化問題に直面しており、会員内で意見を募り活動方法を検討している。
- ・代替わりや区画整理等の理由で処分される資料の調査に関しては、関係者との適切なコミュニケーションが重要である。状況に応じた措置をとるためには、日頃からの情報収集と情報共有化が欠かせない。通常の業務を行なうなかで、突発的に調査する事態を想定することも大切であろう。
- ・外部からは評価の難しい観点だが、博物館の将来に向けた重要な基礎研究である。企画展などには、調査結果を導く資料収集・整理における工夫などの経緯を、興味が持てるように紹介するとよい。
- ・歴史的公文書のデジタル化事業は、内閣府が公文書管理法の運用を推進するなか、時宜にかなった事業といえよう。今後とも図書館や関係部署との連携を深めて、歴史的公文書データベースの拡充と公開を進めて欲しい。

課題と改善策

- ・市域の古文書を協働で整理・解読してきた団体の持続可能なあり方について具体的な方策を一緒に考え、次世代育成のための方策を練る。
- ・失われたら替えない文化財を扱っており、代替わりや区画整理に伴う突発的な対応も生じるが、日頃の情報収集とコミュニケーション、状況に応じた処置にも留意し、対応していく。また、その成果を教育普及活動につなげるよう努める。
- ・展示等、教育普及では、他館や書籍等で関連資料の調査に努め、地域の視点、より広い視点で、資料を展示等の教育普及活動で示すことで、市民の地域理解や学習に供していく。
- ・歴史的公文書のデジタル化は、膨大な量の歴史的公文書を、年代順・課・事項別に分け、番号をつけて袋に入れ、目録をとる作業に多くの時間がかかる。また、個人情報確認等の公開準備作業も課題である。今後は、図書館や文書管理を所管する総務課と連携し、歴史的公文書(日野市重要文書)の保存活用に取り組む。

事業項目 No.4 百草・倉沢エコミュージアム事業

事業の概要

- ・平成18年「真慈悲寺調査推進プロジェクト」の発足を契機に、百草倉沢地区の歴史・文化の調査、研究、普及活動を実施してきた。実施にあたっては、調査活動、現地ガイドも市民ボランティアが務め、真慈悲寺を含む百草地域の歴史を発信してきた。
- ・令和3年度からは、「百草・倉沢エコミュージアム」と称し、百草・倉沢地域全体を「屋根のないミュージアム」としてとらえ、史跡や自然といった地域の魅力を発信していく事業を展開している。百草万蔵院台遺跡の縄文土器の調査整理を行う市民(略称:考古隊)と共に活動を行ってきた。
- ・これらの活動は、百草にある真慈悲寺調査センターを拠点としている。

事業の成果

- ・令和6年度は、百草八幡神社の協力を得た発掘調査や、倉沢北緑地の平場調査を、真慈悲寺調査の会や考古隊の市民とともに実施し、地域との連携を図った。市民協同で実施することで、百草地域の歴史を体験的に学ぶ機会を提供するとともに、広く知らせることができた。
- ＜真慈悲寺調査研究事業＞
 - ・真慈悲寺現地イベント、パネル展や講演会などを実施した。真慈悲寺研究会は月2回実施し、主に百草倉沢地域の一般向け歴史ガイドの増補・改定版の編集作業を行った。また、真慈悲寺イベントや紅葉まつりでは市民による解説ガイドが行われた。
- ＜万蔵院台遺跡縄文資料調査事業＞
 - ・寄贈された縄文土器・石器(万蔵院台縄文コレクション)の整理作業を市民協働で実施した。また、東京都埋蔵文化財センターと連携しての土器づくりや、遺跡・博物館の見学も行った。一般向け考古学体験では、考古隊参加者がスタッフとして指導補助を行った。
- ＜その他の普及事業＞
 - ・一般向けの「考古学体験」(子ども向けを含む)や「百草さんぽ～倉沢と万蔵院の台地」を実施し、定例の学習活動とは異なる新たな市民の参加を呼び込むことができた。

協議会の意見

- ・百草・倉沢エコミュージアムの着想はたいへん価値がある。
- ・着実な資料収集を続けていることに敬意を表する。
- ・真慈悲寺も考古隊も活動が盛んで、職員もよく対応をしている。参加者の活動の主力は高齢者であり、次の人に繋いでいく難しさがある。
- ・活動拠点となる真慈悲寺調査センターは借用施設であり、予算も市で継続して欲しい。
- ・同様の活動が、百草以外の地域にも広まっていくことが大切。
- ・真慈悲寺は名前を知っていても、その内容まではあまり知られていない。学校教育では、ある程度歴史の流れの位置関係が理解できると興味を持ちやすいのではないかな。中学校で扱っていけるような教材化を図りたい。

課題と改善策

- ・エコミュージアム事業の浸透が不十分であり、引き続いて行事を実施するだけでなく、展示活動や学校教育との連携などを通して、百草地域やほかの地域への普及をはかる。
- ・高齢者も多い市民参加型の事業であり、けが防止や熱中症対策など一層の配慮が必要である。
- ・真慈悲寺調査センター内での活動にとどまらず、フィールドに出向いての学習会を実施し百草地域の文化資源などを紹介する。
- ・万蔵院台縄文コレクションの整理作業は技術、知識ともに中級段階に進んでおり、参加者は意欲的に取り組んでいる。初心者向け体験を継続する中で、中級者にも関わってもらい、関心を広める。
- ・エコミュージアム発展のため、地域の団体、農家、関連企業、大学、日野市の他部署などと連携を深めるはたらきかけを引き続き行う。

事業項目 No.5 資料館講座・体験学習事業

事業の概要

- ・郷土の文化や歴史・自然などを、より深く学ぶために講座や体験をともなう学習会を開催する。
- ・古文書講座(子ども向け くずし字にチャレンジ！/古文書講座はじめてコース・経験者コース)
- ・日野桑園第一蚕室の公開と体験的講座(糸繰体験、薩摩琵琶ワークショップ)
- ・たきび祭前夜祭～お話しと朗読・歌のつどい「異聖歌と金子みすゞ」、キャンドルサービスなど
- ・勝五郎生まれ変わり物語 シンポジウム「勝五郎調査団の活動と研究成果」や講演会「体と魂の分かれ方—どこが転生するのか—」の開催
- ・ひの市民大学、平山中地区アクションプラン、まちまなびカフェなどへの講師派遣。
- ・「七生丘陵の早春を楽しもう」の開催

事業の成果

- ・子ども向けのくずし字体験の開催や、古文書講座を初心者と経験者コースを分けて募集することにより、常連の参加者とは異なる子どもや初心者が古文書に親しむ機会を設けることができた。
- ・国登録有形文化財の日野桑園第一蚕室の公開と体験的な講座の開催により、建物の紹介にとどまらず、日野と蚕糸との深い関わりを子どもから大人まで幅広い世代に伝えることができた。
- ・たきび祭では、地域イベントの主役である「異聖歌」について、毎年テーマを変えて継続して伝えた。
- ・勝五郎生まれ変わり物語や、七生丘陵、古文書など講座や体験学習の実施にあたって、市民団体と協働で実施することで、市民の力を活かし、参加する市民へ学ぶ楽しみを伝えることができた。
- ・講師派遣では、市民企画のイベントや学習会に職員が出向き、地域の歴史などより深く伝えた。

協議会の意見

- ・各講座の開催は充実し、努力に敬服する。調査研究の人材確保・育成の面からも講座の開催は重要だと考える。参加者数の報告は、実数の記載のみでは事業評価は困難と思う。来場者の経年変化や事業ごとの集客効果なども、客観的な指標としては蓄積していくべきではないか。
- ・子ども向けの古文書講座を新設し、小中学生が地域の史料に接して興味を深めるよい機会になった。来年度以降も子どもたちが関心を持つように工夫して、講座が継続することを期待したい。また、子ども向けや初心者向けの古文書講座のような、新たな対象者への取り組みは大事である。子どもの参加者が少なく、学校との連携や積極的な広報をすることが必要。
- ・日野桑園第一蚕室の公開と体験講座の開催は、この蚕室が日野の歴史にとって大変重要であると広く理解させたといえよう。今後は建物の保存・管理とともに、第一蚕室関連資料の調査と収集を進めて、日本の養蚕業のなかに位置づける研究を深めて市民に提供していただきたい。琵琶の演奏者は元蚕室職員の親族で、蚕室が元職員の調査協力を得る場ともなっている。
- ・異聖歌事業を今後も継続していくためには、資料整理が大切である。資料を整理するなかで知見を深めて、その知見を紹介することは事業の活性化に繋がると思われる。
- ・「屋根のないミュージアム」は地域全体の保全したい環境を訴えるよいコンセプトだと感じる。これを味わい、理解するためには七生丘陵ハイキングコースの復旧と整備が不可欠だと考える。地域活性化の柱として、万蔵院台も含めた七生丘陵ハイキングコースの活性化を訴えていきたいものだと思う。
- ・化石の観察会は子どもが楽しみにする企画であり、雨天中止は残念であり予備日を設定して欲しい。
- ・テレビ番組で日野市の存在感がないと伝えられ、子どもたちに日野の素晴らしさを発信することが必要。郷土資料館へ行きづらいので、図書館などで小さなことでも、フットワークを軽く出向いて発信してはどうか。
- ・中学生が展示に協力すれば友達も見に来る。関係者が関心をもつような、例えば日野高校美術部との共同なら注目される企画でもあり、郷土資料館の存在価値を伝えることができるのではないか。
- ・小中学校では探究学習の取り組みが注目されている。実物にふれる体験が子どもは感激するので、探究学習の場面で資料館が果たせる役割は大きい。

課題と改善策

- ・委員から指摘されたように、事業を客観的に評価できるような形で資料を提示する。
- ・参加者の傾向として高齢者が多く、同様の講座では顔馴染みの参加者もいる。新たな参加者層も呼び込むための、テーマ、会場、開催時期の設定を行う。また、興味を持ってもらえるような広報活動を行う。
- ・実物資料に接する機会、共同企画や参加型などの企画で、興味関心を呼び込む。
- ・資料の調査整理の成果が、講座や学習会に生かされて市民に伝わっていく、これらの調査を支える市民の力は非常に重要であるが、高齢化問題に直面しており、参加可能な方法での実施や、新たな呼びかけが必要。
- ・丘陵のハイキングコース、文化財、用水、河川といった史跡・自然など、日野の良さを、講座や学習会で伝えて地域の活性化につなげる。

<参考資料>

I 令和6年度 日野市郷土資料館の活動状況

1 郷土資料館協議会

開催日 会場	議 事 案 件
R6.7.10 郷土資料館	(1) 10期郷土資料館協議会委員長・副委員長の選出 (2) 協議 日野市郷土資料館の運営の状況に関する評価について(令和5年度事業) (3) 報告 令和6年度事業について (4) 郷土資料館協議会の会議公開および傍聴について
R6.11.1 日野市役所 新選組のふる さと歴史館	(1) 報告 令和6年度郷土資料館およびふるさと文化財課事業について (2) 報告 令和7年度事業について ※会議後、特別展「甲州道中日野宿と本陣」見学
R7.2.21 郷土資料館	(1) 報告 令和6年度事業について (2) 報告 令和7年度郷土資料館およびふるさと文化財課事業について (3) 報告 文化財保護に関する報告 ※会議後、企画展「ひのっ子お買い物展～モノの値段・モノの流れ～」見学

2 展示・運営事業

(1) 月別来館者数(団体も含む来館者数)

月	入館者数
4月	232
5月	257
6月	185
7月	230
8月	265
9月	371
10月	481
11月	444
12月	327
1月	280
2月	330
3月	334
合計	3,736

(2) 企画展示別来館者数(団体も含む来館者数)

企 画 展 名	展示期間	入館者数
企画展「日野を語る資料～未来へ託す収蔵品～」	R6.1.20～4.14	1,058
企画展「千歯扱き探偵団 ～文字からたどる農具の流通～」	R6.4.20～7.7	583
企画展「今日も明日も観察日和 ～身近な自然を楽しもう～」	R6.7.13～9.1	572
企画展「ここまでわかった!川辺堀之内のうんとむかし -吹上遺跡・神明上遺跡・川辺堀之内遺跡・No.16 遺跡の調査から-」	R6.9.7～12.8	1,345

企画展名	展示期間	入館者数
企画展「ひのっ子お買い物展～モノの値段・モノの流れ～」	R6.12.14～R7.5.18	1,430
パネル展「日野の野鳥」	R6.4.14～8.2	—
パネル展 戦争体験を語り継ぐ 2024「ある家族の戦争体験」	R6.8.3～9.5	—
パネル展「たきび」の詩人巽聖歌の作品	R6.9.6～12.13	—
パネル展 企画展お買い物展に関連して	R6.12.14～R7.5.24	—

※ パネル展は企画展と同時開催のため来館者数の記入なし。

※令和6年度中に入館者数は 企画展「日野を語る資料～未来へ託す収蔵品～」は139人、
企画展「ひのっ子お買い物展 ～モノの値段・モノの流れ～」は1,097人となった。

企画展「千歯抜き探偵団 ～文字からたどる農具の流通～」関連講座

R6.5.18 講演会「謎解き！千歯抜き ～北多摩と南多摩～」 8人

(3) 学校等団体来館者数

月 日	学校名等	対 象	内 容	人数
R6.7.4・5	三沢中学校	2年	職場体験	6
R6.9.3	日野第六小学校	3年	社会科見学	124
R6.9.26	都立七生特別支援学校	高等部1年	社会 産業と生活	44
R6.10.8・9	日野第四中学校	2年	職場体験	10
R6.10.10	日野第七小学校	3年	社会科見学	112
R6.10.10・11	日野第一中学校	2年	職場体験	16
R6.10.16	日野第一中学校	1年	総合 日野市研究	12
R6.11.1	七生中学校	1年	総合 グループ学習	6
R6.11.7	わかば教室	小・中学生	陸稲の脱穀体験	19
R6.11.8	南多摩中等教育学校	中学1年	総合 グループ学習	8
R6.11.14・15	日野第二中学校	2年	職場体験	3
R6.11.21	日野第一小学校	3年	社会科見学	103
R6.11.21	東光寺小学校	3年	社会科見学	53
R6.11.26	仲田小学校	3年	社会科見学	89
R6.11.28・29	日野第三中学校	2年	職場体験	4
R6.12.3	旭が丘小学校	3年	社会科見学	100
R7.1.23	京王線みちくさ散歩	大人	展示見学	10
R7.1.25	歴史古街道団	大人	展示見学	35
R7.2.7	夢が丘小学校	3年	社会 展示見学 昔の道具	48
R7.2.19・20	七生特別支援学校	高等部1年	職場体験	4
R6.11.29, R6.12.20, R7.3.14	わかば教室	小・中学生	考古学体験	77
合計	21 件			883

3 市刊行物の有償頒布

書名	単価	部数	小計
日野市史 通史編 一 自然 原始・古代	2,400	1	2,400
日野市史 通史編二（上） 中世編	2,000	1	2,000
日野市史 通史編二（中） 近世編（一）	2,000	0	
日野市史 通史編二（下） 近世編（二）	2,500	0	
日野市史 通史編三 近代（一）	2,400	0	
日野市史 通史編四 近代（二） 現代	3,000	0	
日野市史 史料集 高幡不動胎内文書編	2,000	0	
河野清助日記一 慶応二～四年	1,700	1	1,700
河野清助日記二 明治二～六年	1,700	1	1,700
河野清助日記三 明治七～十一年	1,700	1	1,700
日野市ふるさと博物館紀要 第1号	1,000	0	
日野市ふるさと博物館紀要 第2号	500	0	
日野市ふるさと博物館紀要 第3号	700	0	
日野市ふるさと博物館紀要 第4号	1,000	0	
日野市ふるさと博物館紀要 第5号	700	0	
日野市ふるさと博物館紀要 第6号	700	0	
日野市ふるさと博物館紀要 第7号	700	0	
日野市ふるさと博物館紀要 第8号	1,000	0	
日野市郷土資料館紀要 第1号	500	0	
日野市郷土資料館紀要 第2号	500	0	
日野市郷土資料館紀要 第3号	500	0	
市制40周年記念企画展 大工場がやってきた ～産業で振り返る日野の	300	2	600
ほどくぼ小僧勝五郎生まれ変わり物語（DVD）	500	2	1,000
ほどくぼ小僧生まれ変わりの勝五郎（絵本）	500	2	1,000
市制施行50周年記念特別展	800	2	1,600
ほどくぼ小僧勝五郎生まれ変わり物語調査報告書 改訂版	1,500	12	18,000
ほどくぼ小僧勝五郎生まれ変わり物語 日野市郷土資料館ブックレット1	200	23	4,600
日野の昆虫ガイドブック	1,100	1	1,100
新・日野の動物ガイドブック	1,200	1	1,200
たきびの詩人 巽聖歌 日野市郷土資料館ブックレット2	200	2	400
日野用水開削四五〇周年記念特別展～日野人が守り育てた緑と清流～（図録）	500	10	5,000
たきびの詩人 巽聖歌資料集1 ― 野村七蔵から巽聖歌へ ―	1,600	1	1,600
日野市域における サイノカミ・どんど焼き行事調査報告書	600	8	4,800
合計		71	50,400

4 博物館連携

(1) 東京都博物館協議会

R6. 6. 14	総会・見学研修会 日本科学未来館
R7. 1. 31	研修会 オンライン講演会
会報の発行No. 131 (9. 30発行)、No. 132 (R7. 3. 31発行)	

(2) 東京都三多摩公立博物館協議会

R6. 7. 4	役員会・総会・見学会 会場：日野市中央公民館・日野宿本陣
R7. 1. 29	役員会・協議会 会場：くにたち郷土文化館
R6. 12. 11	第1回研修会「東京都公文書館所蔵「多摩の地域史料」を読む 会場：東京都公文書館
R7. 3. 28	第2回研修会「博物館がみんなの「自分ごと」になっていく取組み」 会場：くにたち郷土文化館
機関誌『ミュージアム多摩No. 46』の発行、HPの公開などを実施	

5 教育普及事業

(1) 講座・体験学習会

月 日	内 容	講 師	会 場	人 数
R6. 8. 17	子ども向け事業 くずし字にチャレンジ！～古文書体験2024～	日野市学芸員	郷土資料館	3
R6. 11. 3	糸繰り体験（文化財ウィーク第一蚕室の公開）	八王子長田養蚕	旧日野桑園 第一蚕室	250
R6. 11. 16	薩摩琵琶ワークショップ（文化財ウィーク第一蚕室の公開）	児玉松咲氏	旧日野桑園 第一蚕室	64
R6. 12. 6	第17回たきび祭前夜祭～お話しと朗読・歌のつどい」「異聖歌と金子みすゞ」、キャンドルサービスなど	日野市学芸員ほか	旭が丘中央公園	49
R7. 3. 25	七生丘陵の早春を楽しもう	七生丘陵調査団	七生公園ほか	14
R7. 3. 30	勝五郎子ども講座	勝五郎生まれ変わり物語探求調査団ほか	高幡不動	中止
R7. 3. 29	化石でたどる大昔の日野	西田尚央氏	多摩川	中止
合計	4件			331

※ そのほかの講座・体験学習会は、事業別に紹介。

(2) 連続講座 初心者向け古文書講座

月 日	内 容	講 師	会 場	延 べ 人 数
R7. 2. 1, 2. 8	はじめてコース 2 回	上野さだ子氏	郷土資料館	30
R7. 3. 1, 3. 8	経験者コース 2 回	馬場憲一氏	郷土資料館	31

(3) 出張事業（展示及び講師派遣）

ア 学校等へ出張授業

月 日	学校名	対 象	内 容	人 数
R6. 5. 31	日野第七小学校	5 年	日野ベジプロジェクト	100
R6. 9. 19	七生特別支援学校	高等部 1 年	社会 産業と生活	44
R7. 1. 23	滝合小学校	3 年	かわる道具とくらし	78

月 日	学校名	対 象	内 容	人 数
R7. 1. 24	潤徳小学校	3 年	かわる道具とくらし	111
R7. 1. 25	平山小学校	3 年	かわる道具とくらし	110
R7. 1. 30	七生緑小学校	3 年	かわる道具とくらし	60
R7. 2. 4	日野第三小学校	3 年	かわる道具とくらし	58
R7. 2. 5	南平小学校	3 年	かわる道具とくらし	82
R7. 2. 27	旭が丘小学校	3 年	異聖歌について	99
合計	9 件			742

イ その他 講師派遣、出張パネル展など

月 日	内 容	会 場	人 数
R6. 3. 23～R6. 9. 26	パネル展 花も実もある七生丘陵散策コース (樹木編)	平山季重ふれあい館	-
R6. 10. 13	ひのまなびまつり「旧日野桑園」パネル展	ふれあいホール	-
R6. 10. 27	平山季重まつり(パネル展・宗印寺現地解説)	平山季重ふれあい館	-
R6. 9. 28～11. 20	パネル展文集『つくし』の生き物たち-ひととともに-	平山季重ふれあい館	-
R6. 11. 1～11. 30	多摩動物公園と京王線	高 幡 図 書 館	-
R6. 11. 23	まちなびカフェ「聞いてびっくり! 多摩平の少し昔」	多摩平地区集合住宅集会所	31
R6. 11. 22～ R7. 1. 30	異聖歌の作品紹介	平山季重ふれあい館	-
R6. 11. 30	ひらやま まちあるき(平山中地区アクションプラン)	宗 印 寺	32
R6. 12. 13	ひの市民大学 第1回「日野と養蚕」	旧日野桑園第一蚕室	8
R6. 12. 20	ひの市民大学 第2回「大田南畝のみた日野」	中 央 公 民 館	11
R7. 1. 10～1. 24	勉強会が記録したサイノカミ・どんど焼き-コロナ禍の工夫と復活-	中 央 図 書 館 2 F	-
R7. 3. 26～4. 24	日野市の歴史的公文書パネル展	市役所 1 階ロビー	-
R7. 3. 29	桜まつり 異聖歌パネル展	旭 が 丘 中 央 公 園	-
R7. 3. 29～5. 29	花も実もある七生丘陵散策コース(草編)	平山季重ふれあい館	-
合計	13 件		82

(4) レファレンス事業 電話・Eメール・手紙などで寄せられた質問への調査回答 83 件

(5) 博物館実習 実習期間：R6. 8. 28～9. 4 (ただし、9 月 1, 2 日は除く) の 6 日間 人数：6 人

6 所蔵資料活用事業

(1) ふるさと文化財課・図書館共同事業「歴史的公文書デジタル化事業」

<地域の歴史や歴史事象を物語る重要な資料> <市政の歩みを伝える資料> <市政を検証する上で重要な資料>として選別された日野市の歴史的公文書(「旧七生村文書」及び「旧日野町・日野市行政文書」)のデジタルデータ化を図書館と連携して実施し、その一部を公開データベースに追加した。市役所で「日野市の歴史的公文書パネル展」を開催し、歴史的公文書のデジタル化への理解を深めた。

(2) 資料の貸出事業

貸出先	資 料	目 的
桜美林大学	千歯扱き	博物館実習
中央公民館	除草機	田んぼの学校
日野第四小学校	脱穀機用具	5 年 総合的な学習の時間 脱穀体験
日野第六小学校、平山小学校	糸車	1 年 国語
府中市郷土の森博物館	武蔵名勝図会	展示
合計 6 件		

(3) 資料の撮影・閲覧申請

目的	調査研究・書籍掲載（一般書籍・市史）、展示パネル、商工会展示、講座、展示、会報、都広報活動
資料	七生村全図、五十家文書、千歯扱き、平山切絵図、武蔵名勝図会、百草村絵図、豊田駅（昭和12年）写真、高幡・豊田・多摩平地区写真、巽聖歌肖像写真、高幡不動胎内文書、古文書類
合計16件	

7 資料収集保存・調査事業

(1) 資料収集保存事業

項 目	内 容	件数等
資料寄贈	千歯扱き、通い徳利、宮参り着物、篩、箕、藤蔵墓石ほか	5
資料購入・製作	『金剛流昭和版仕舞形附第1輯～3輯（昭和6年）』、『野鳥』創刊号～第3巻（22冊）、巽聖歌関係ほか古書購入 野鳥「アカハラ」剥製製作（1点）	3
収集資料の整備ほか	程久保ボランティアによる民俗資料整理	44
資料修復	「田畑其外反別取調野帳 程久保村」（資料No.39）、「田畑其外反別取調野帳 三沢村」（資料No.31・34・35）、「松連禅寺之碑」拓本	3

(2) 調査事業

ア 勝五郎生まれ変わり物語調査事業（市民協働調査 勝五郎生まれ変わり物語探求調査団）

項 目	内 容	人 数
例会	毎月第二水曜日午後（12回）	123
総会	R6. 6. 12 6月例会の中で開催	12
調査団公開講演会	R6. 5. 19 廣田龍平氏（法政大学等非常勤講師）「体と魂の分かれ方—どこが転生するのか—」12月からYouTubeにて公開	42

記念行事	R6.10.12 高幡不動尊五重塔地下ホールにて開催 第15回藤蔵・勝五郎生まれ変わり記念日イベント シンポジウム「勝五郎調査団の活動と研究成果」 講師 今井秀和氏（調査団代表 共立女子大学准教授） 司会兼コメンテーター 皆神龍太郎氏（作家）	126
調査活動	藤蔵の墓石調査（R7.2.5, 6）	6
その他の活動	春休み子ども講座（R7.3.30）	中止
合計		309

イ 七生丘陵調査事業（市民協働調査 七生丘陵調査団）

内 容	回数	延べ人数
定例会（11回）・総会（1回）	12	55
室内資料整理作業や打合せ	5	21
七生丘陵の野外活動 観察調査ほか	25	100
R7.3.25「七生丘陵の早春を楽しもう」市民向け講座の講師・案内役	1	5
パネル展「花も実もある七生丘陵散策コース（樹木編）」のための準備を年間通して実施 展示会期 R7.3.29～7.31 会場：平山季重ふれあい館	1	-
合計	44	181

ウ 古文書等調査事業

項 目	内 容	回数	延べ人数
日野の古文書を読む会 との協働調査	古文書整理	20	90
	古文書解読	44	364
	例会・総会	11	224
	小計	75	678
日野の昭和史を綴る会 との協働調査	日野本郷の地名調査	11	107
その他の古文書等 調査事業	地域の歴史を記録した資料の調査・整理・目録作成および写真撮影 市内借用文書、旧七生村・日野市行政文書ほか		
合計		86	785

エ 民俗調査（市民協働調査 サイノカミ・どんど焼き勉強会）

項 目	内 容	人数
祭礼調査	夏・秋祭り調査	15
サイノカミ 調査	例会（11回）、コロナ禍におけるサイノカミ・どんど焼き行事のまとめ、変化するサイノカミ行事の記録。中央図書館での展示企画（1月）	70
合計		85

8 古文書等歴史資料整理編集委員会

開催日・会場	議 事 案 件
R6.6.6 郷土資料館	(1) 令和6年度の資料調査事業について (2) 広報「みんなのふるさとこぼれ話」について (3) その他 令和5年度古文書講座について
R6.10.17 郷土資料館	(1) 令和6年度の資料調査事業について (2) 広報「みんなのふるさとこぼれ話」について (3) その他 令和6年度古文書講座について
R7.3.13 郷土資料館	(1) 第14期委員委嘱 (2) 令和6年度の資料調査事業について (3) 広報「みんなのふるさとこぼれ話」について (4) その他

9 百草・倉沢エコミュージアム事業（文化財啓発事業）

件名		内 容	回数 又は 件数	人数
百草・倉沢エコミュージアム事業	万蔵院台遺跡縄文資料調査事業	考古学体験：R6.6.29 水洗い、R6.7.20 接合、R6.8.3 水洗い（子ども向け）、R6.10.26 拓本体験	4	40
		考古隊活動：「万蔵院台縄文コレクション」整理作業 月4回土曜日実施。真慈悲寺調査センター	46	322
		考古隊講座：「縄文土器作り」共催東京都埋蔵文化財センター R6.10.21 土器づくり、R6.12.2 野焼き	2	20
		考古隊見学会 R6.12.14「西東京市下野谷遺跡見学」講師：西東京市学芸員 R7.3.29「帝京大学総合博物館見学」講師：帝京大学総合博物館学芸員	2	27
		考古隊勉強会 土器復元技術（講師：井上晃夫氏）・縄文土器の分類（講師：安孫子昭二氏）・展示解説（講師：ふるさと文化財課学芸員）他	9	90
	真慈悲寺調査研究事業	R6.7.24、R6.8.2 百草八幡神社発掘調査（真慈悲寺調査研究・考古隊）	1	30
		R6.9.15 講演会「百草園の礎を築いた青木角蔵」講師：ふるさと文化財課学芸員 京王百草園内松連庵	1	25

件名		内 容	回数 又は 件数	人数
百草・倉沢エコミュニ ジウム事業	真慈悲 寺調査 研究 事業	ガイド： ・国指定重要文化財「銅造阿弥陀如来坐像」公開時の対面解説 ガイド（東京文化財ウィーク参加事業）（R6. 9. 15） ・京王百草園紅葉まつり パネル展「中世瓦が語る中世の京王 百草園」および真慈悲寺調査ボランティアによる解説ガイド （R6. 11. 16～11. 24）	2	200
		パネル展示： ・「百草園の礎を築いた青木角蔵の紹介」（R6. 8. 10～10. 4 百草 図書館 ・「百草八幡神社の紹介」（R7. 2. 1～2. 15）京王百草園梅まつり 他	3	-
		真慈悲寺研究会月2回活動実施	19	209
	自然	「百草さんぽ～倉沢と万蔵院の台地」 真慈悲寺調査センター、万蔵院台、倉沢下流大栗川（R6. 5. 25）	1	10

<参考資料>

Ⅱ 日野市郷土資料館の運営状況の評価実施要綱

平成21年3月31日制定

(目的)

第1条 この要綱は、博物館法(昭和26年法律第285号)第9条の規定する、日野市郷土資料館の運営の状況に関する評価の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 日野市郷土資料館(以下「資料館」という。)は、毎年1回、資料館の運営状況について評価を行う。

(評価の方法)

第3条 資料館は、資料館協議会の意見を聞きながら、評価を行うものとする。

(教育委員会への報告書の提出)

第4条 資料館は、評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出する。

(評価結果の公表)

第5条 資料館は、評価の結果を市民に公表する。

(評価結果の活用)

第6条 資料館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

(庶務)

第7条 評価に関する庶務は、資料館資料館係において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、資料館長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する

<参考資料>

Ⅲ 第10期 日野市郷土資料館協議会委員名簿

番号	氏 名	専門分野	期
1	平 自由 (委員長)	社会教育の関係者 (考古学・博物館学)	5
2	佐藤福子 (副委員長)	学識経験者 (歴史・古文書研究)	4
3	畠山 豊	社会教育の関係者 (民俗学・博物館学)	5
4	保坂一房	学識経験者 (多摩の地域史研究)	5
5	片山 敦	学識経験者 (生物・環境教育)	4
6	柳元太郎	社会教育の関係者 (郷土教育研究)	1
7	菅野竜也 任期:令和7年4月1日～	学校教育の関係者 (東光寺小学校校長)	1
8	伴 光明 任期:令和7年4月1日～	学校教育の関係者 (日野第三中学校校長)	1
9	河合今日子	公募市民	2
10	藤森寛行	公募市民	2

任期 自 令和6年 3月 4日 至 令和8年 3月 3日

令和 7 年度日野市郷土資料館の
運営の状況に関する評価書
(令和 6 年度事業)

令和 7 年 9 月

日野市ふるさと文化財課
(郷 土 資 料 館)

〒191-0042

東京都日野市程久保550番地

電話 042-592-0981

FAX 042-594-1915